

## スタイルシート

- 1.本文の使用言語：日本語、もしくは英語。
- 2.紙のサイズ：A5 版（幅 148mm、高さ 210mm）
- 3.原稿：Word で読める形式のファイル。Windows の場合、Word2000 以降、Mac の場合、Word2004 以降。ただし、拡張子は.doc とすること。
- 4.余白（マージン）：上 23mm、下 17mm、内 23mm、外 11mm。
- 5.行数：31 行（行送り 15.5pt）。
- 6.字数：全角 33 文字。
- 7.フォント：和文フォントは MS 明朝、欧文フォントは Times New Roman を基本として、MS ゴシックの使用を認める。なお、Times New Roman になり特殊文字については、Doulos SIL Font、TITUS Cyberbit Basic のどちらかの使用を認める。Doulos SIL Font、TITUS Cyberbit Basic を使用している場合には使用していることを編集委員に伝えること。これ以外のフォントの使用は認めない。欧文フォントの太字体、斜字体の使用は認めるが、和文フォントの太字体、斜字体の使用は認めない。
- 8.ポイント数、書体等：  
題名、副題：題名 18pt、センタリング。題名の上に 10pt の空白行を入れる。副題 16pt、センタリング。  
氏名、所属：14pt、センタリング。題名、副題と氏名間に 10pt の空白行を入れる。姓と名の間には全角のスペースを入れる。ただし、共著論文の場合は編集委員の判断でスペースを削除する。所属は氏名の後ろに†を脚注記号としてつけ、脚注に 8pt で所属を示す。職位は示さない。院生の場合は以下のように記す。  
例) 田中 太郎†

†筑波大学大学院人文社会科学研究所一貫制博士課程

キーワード：「キーワード：」は MS ゴシック、キーワード自身は MS 明朝、Times New Roman とし、両方とも 10pt、センタリング。氏名、所属とキーワードの間に 10pt の空白行を入れる。キーワードの下に 10pt の空白行を入れる。コロン（：）は全角とする。「キーワード：」とキー

ワード自身の間に半角のスペースを入れる。

例) キーワード： これ、それ、TOP、あれ、ほれ

本文：10pt、両端揃え。英語等の単語は自動区切りを使用する。英文論文の場合、各セクションの最初の段落では字下げをせず、それ以外の段落では最初の行で 3.5mm 字下げする。

セクション題:MS ゴシックの標準体、Times New Roman の太字体、12pt、左寄せ。セクション題の上に 10pt の空白行を入れる。セクション題の下には空白行を入れない。

サブセクション題:MS ゴシックの標準体、Times New Roman の太字体、10pt、左寄せ。真上にセクション題がある場合はサブセクション題の上に空白行をいれない。真上にセクション題がない場合はサブセクション題の上に 10pt の空白行を入れる。サブセクション題の下には空白行を入れない。 サブサブセクションも同様に。

脚注：8pt、両端揃え。1 行目は 1 字下げ。

参考文献：10pt、【参考文献】のみセンタリング、【参考文献】の上下に 10pt の空白行を入れる、文献記載は両端揃え。2 行以上にまたがる場合は、2 行目から 3 字下げ。

句読点：和文は「、」「。」「」とする。

9. 副題：和文は全角のダッシュで囲む。英文は半角のコロンで仕切る。コロンの後は半角のスペースを入れる。なお、英文の場合、副題の先頭の文字は大文字とする。
10. 数字：数字は半角、アラビア数字に統一し、漢数字は使わない(例：1 つ、第 2 に、3 人)。
11. 引用：10pt。上下に 10pt の空白行を入れる。左右に全角 1 文字分のマージンを入れる。英文論文の場合には、左に 7mm、右に 3.5mm のマージンを入れる。
12. 例文：上下に 10pt の空白行を入れる。例文は丸括弧の中に通し番号を付け、全角 1 文字分字下げして書く。執筆言語と異なる言語の例文には、必要に応じて単語(場合によっては形態素)ごとにグロスを、また全文の訳を付ける。ただし、英文はその限りでない。

13. **図、及び表**：上下に 10pt の空白行を入れる。本文に組み入れた形にする。箇所を指定しただけで別に添付する形は取らない。「図 1」、「表 2」のように例文とは別に通し番号を付ける。センタリングを原則とする。キャプションは、表は表の上部に、図は図の下部につける。
14. **参考文献**：表記方法はサンプルファイルに従うこと。姓は頭文字のみでも可。
15. **英文要旨の名前**：順序は、名前 姓とする。名前は最初の文字のみを大文字とする。姓はすべて大文字表記とする。
16. **ヘッダー**：フォントは MS 明朝、Times New Roman。雑誌名 8pt、ページ数 10pt。
17. **ハイフネーション**：「単語を自動的に区切る」「大文字の単語も区切る」の両者共にチェックを入れる。調整幅は 6.3mm。最大連続行数は制限なし。